

令和5・6年度 奥田公園トライアル・サウンディングの実施結果報告書

1. はじめに

令和5・6年度 奥田公園トライアル・サウンディングは、生活・文化拠点再整備事業のビジョン「ふじさわ MIRAI ファーム～ここからはじまる未来への種まき～」の実現に向けて、奥田公園のファンづくりや、奥田公園で活躍する事業者・活動者（プレーヤー）の把握、プレーヤー同士がつながるチャンスづくり、生活・文化拠点再整備事業への関心度を高めるために実施しました。

本報告書は、トライアル・サウンディング参加者から提出された実績報告書及び利用者へのヒアリング結果をまとめ、実施概要、検証結果を報告します。

2. 実施概要

2.1. 対象としたスペース

- 多目的広場
- 芝生広場(芝生広場北側の遊具のある公園は含まない)

2.2. 実施期間

2023年(令和5年)9月18日から2024年(令和6年)9月30日まで

2.3. 事業数

実施事業数 5事業

(具体的な相談がありエントリーまで進んだが実施できなかった事業数 5事業)

※グループ参加など事業内に複数のコンテンツがある場合であっても1事業として計上

2.4. スペースごとの延べ実施回数

- 多目的広場単体 2回
- 芝生広場単体 0回
- 多目的広場・芝生広場両方使用 3回

2.5. 事業内容

- 多目的広場: 子どもたちとともにマルシェ、キャンピングカー展示・キッチンカー、市民活動PRブース、ワークショップ、ステージ、アート体験(演奏体験、七夕飾り制作)、キッチンカー、アパレル・雑貨販売・アート作品、スナックゴルフ等
- 芝生広場: 青空お話し会、アウトドア遊び体験、ステージ

3. 検証結果

3.1. 市場性に関する参加者の評価

事業を実施した全ての事業者において、事業を実施することによって黒字は出せず、主催者の持ち出しが発生している。寄せられた意見は次のとおり。

- 運営者としては1回だけでは収益性・採算を確保することはできないが、今後も継続的に実施可能となれば、今回用意した備品や知見、ノウハウを活かすことができ、収益性が向上することが見込まれることから、継続して使用させてほしい。
- 出展したブース単体では完売するなど収益性・採算性が見られた。

3.2. 施設等の課題

具体的な相談がありエントリーまで進んだが実施できなかった事業について、実施できなかった理由に関しては、施設の使用可能・不可の明確な基準が無いことによるものが2件、保健所との事前調整が不十分だったことによるものが1件、事業者の都合によるものが2件であった。芝生広場で使用可能な人数に関する明確な基準が無いことについては、集客の多いイベントの実施に慎重にならざるを得ない。

他に寄せられた意見は次のとおり。特に備品のレンタルは実施事業者の全てから希望があった。

- ブース出展者用の駐車場があると良い。
- 搬入搬出の効率化。
- 火の扱いについて課題を明確に示してほしい。
- 複数の課に分かれる申請がワンストップになればより利用が見込まれる。
- 駅から10分ほどかかるので、いかに強いコンテンツを用意するかが鍵。
- 近隣施設からテーブル、椅子、テントなど備品系のレンタルができると実施しやすい。
- 現状では、電気が引けないので引けると実施しやすい。
- 水道について花壇の散水栓のみなので水圧が心配。

3.3. その他参加者の評価

- 市民が利用しやすい公共的な施設や場が少ないと感じる。
- 奥田公園だけでなく市内の他の公園での実施を希望する。
- 奥田公園を湘南地域の芸術のカルチャーの中心地となるような場所にしてほしい。
- 市による効果的な周知の協力をお願いしたい。
- 近隣住民を巻き込む運営を検討することが望まれる。

3.4. 周辺住民への影響

- 近隣マンション住民の参加が非常に多かった。
- 多目的広場でスピーカーを使用した音楽イベントについては、騒音の苦情があった。
- 準備しているときに、犬の散歩で訪れていた近隣住民から、楽しみにしているという声をかけられることが複数回あった。

以上